

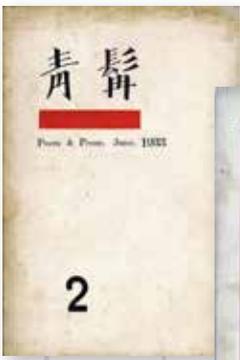
大正から昭和初期（1920・1930年代）にかけて、文学、絵画、建築などの分野で実験的な芸術運動「モダニズム」が興りました。この頃、名古屋の文学においては詩作が盛行し、新しい表現を模索する若い詩人たちにより、相次いで詩の雑誌が創刊されました。

なかでも大正11年に発刊された「青騎士」は、「文化のみち二葉館」周辺の土地とゆかりがある詩人・春山行夫、井口蕉花、佐藤一英、高木斐瑳雄らによって編まれ、先駆的なモダニズム詩誌として評価されています。

そして昭和に入ると、シュルレアリスムの詩人・山中散生が「シネ」を創刊して、名古屋のモダニズム詩運動はさらに進展をみました。

今回の展示では、大正から昭和初期に名古屋で生まれた貴重な詩誌や詩集とともに、名古屋詩壇で活躍した詩人たちやその作品などについて紹介します。

名古屋・モダニズム詩展



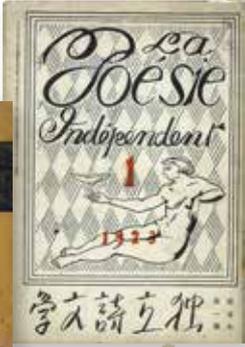
「シネ」1929年



「青騎士」1923年



「機軸座」1927年



「独立詩文学」1923年



「シネ」1929年

講演「前衛詩人たちの活動」& 詩の朗読

大正から昭和初期にかけて名古屋で活動した詩人たちについての講演とあわせて「青騎士」などに掲載された詩を朗読していただきます。

講師：木下信三 朗読：いこの福代

日時：令和元年11月3日(日) 13:30~15:00

会場：文化のみち二葉館 1階大広間

※入場無料(要入館料) 当日先着順自由席

いこの福代
「劇団うりんこ」を8名で創立し、33年間に在籍。退団後は演出や朗読の指導などで地域の文化活動に参加。東北大地震後は「音つむぎネット」の仲間とボランティア公演に出かけ、東北の応援を続けている。2014年度に東海3県の優れた演劇人をたたえる第18回松原英治・若尾正也記念演劇賞を受賞。



木下信三
1934年、名古屋生まれ。1966年、個人誌発行、現在に至る。1968年、名古屋地方の無名物故詩人の発掘作業開始。1970年より山頭火の実証的研究を志し全国足跡を追跡調査。著書、「名古屋近代文学史私考」「愛知戦後文学史考」「山頭火伝」「山頭火虚像伝」など。



主催・お問い合わせ

文化のみち二葉館

【名古屋市旧川上貞奴邸】

名古屋市東区榑木町3-23

Tel & Fax 052-936-3836

<https://www.futabakan.jp/>



「ドニエッコきっぷ」「一日乗車券」

を利用してご来館の方は入館料割引! 一般200円→160円



交通のご案内

- なごや観光ルートバスメーグル「文化のみち二葉館」下車
- 市バス「飯田町」下車、北に徒歩2分
- 基幹バス2号「白壁」下車、南に徒歩5分
- 地下鉄桜通線「高岳」下車、2番出口より北に徒歩10分
- 名鉄瀬戸線「尼ヶ坂」下車、南に徒歩12分

※ 駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

